

シェアリングエコノミー協会会員向け保険商品 『オールインワンパッケージ（利用者補償型）』の販売開始

一般社団法人シェアリングエコノミー協会（代表理事：上田 祐司、重松 大輔、以下「当協会」）と損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、当協会に加盟しているプラットフォーム事業者を対象に、専用保険商品『オールインワンパッケージ（利用者補償型）』の販売を11月から開始します。

『オールインワンパッケージ（利用者補償型）』は、プラットフォーム事業者を契約者とし、プラットフォーム事業者・サービス提供者・サービス利用者が負う賠償責任を総合的に補償します。

1. 背景・経緯

- シェアリングエコノミーとは、場所・乗り物・モノ・人・お金など、個人が所有する資産をインターネット上のプラットフォームを介して、個人間で貸借や売買、交換することでシェアしていく新しい経済の仕組みであり、今後、市場の急成長が見込まれています。
- 一方、C to C（個人間取引）の特性から、サービス提供者や利用者が安心して取引を行えるように、プラットフォーム事業者にはさまざまな対策が求められています。
- 損保ジャパン日本興亜は、シェアリングエコノミーの発展に貢献するため、当協会と連携し、プラットフォーム事業者やサービス提供者だけでなく、サービス利用者が賠償責任を負った場合の補償も提供することで、シェアリングサービスに関わる三者のリスクを総合的に補償する新商品を開発しました。

2. 『オールインワンパッケージ（利用者補償型）』の特長

（1）サービス利用者が第三者に対して負う賠償責任も補償

従来の賠償責任保険では対象とならなかった、サービス利用者が第三者に対して負う賠償責任も新たに補償対象に加えることで、シェアリングサービスに関わる賠償リスクを総合的に補償します。

（2）さまざまな補償やサービスをカスタマイズしてご提供

訪日外国人旅行者を受け入れる民泊などのプラットフォーム事業者には、旅行者（サービス利用者）の日本滞在中の病気やケガによる治療費用等の補償や、医療アシスタンスサービスの提供を行うことが可能です。

（3）マッチング（1回の利用）ごとの手続きが不要

本商品は年間の包括契約となるため、マッチング単位での契約手続きが不要です。プラットフォーム事業者のシェアビジネスに関する賠償リスクを1契約で包括的に補償します。

3. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、『オールインワンパッケージ（利用者補償型）』の販売を通して、安心・安全なシェアリングエコノミーの発展・推進を支援し、地域における共助や資源の有効活用による新たなソリューションの創出に寄与することで、一億総活躍社会や地方創生等の国が抱える課題の解決に貢献していきます。

以上

ご参考

『オールインワンパッケージ（利用者補償型）』のイメージ

プラットフォーム事業者を契約者として、サービス利用者を中心にシェアリングサービスに関わる賠償リスクを補償します。

